市川エコ・プラントの「環境測定」結果報告

ﾃﾞｰﾀ更新： 2025. 4.09

1) 騒音レベル

測定地点：敷地周囲　※施設稼動時③；重機5台が稼働し、施設も稼働

単位：ﾃﾞｼﾞﾍﾞﾙ(A)

測定地点	稼動状況	測定時間	騒音レベル 90 %レンジ上端値	騒音レベル 中央値	騒音レベル 90 %レンジ下端値	適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関（測定年月日）
A（東）	施設停止時	8:03～ 8:13	68	65	62	×	60	60	㈱環境管理センター（2025. 4.09）
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	75	69	66	×			
B（北）	施設停止時	8:03～ 8:13	60	58	56	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	76	67	65	×			
C（西）	施設停止時	8:03～ 8:13	47	47	44	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	62	55	58	×			
D（南）	施設停止時	8:03～ 8:13	53	57	48	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	60	58	58	○			

注1) Ａ地点では、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえており、稼動時の時間帯で重機音及び場内作業音が聞こえていた。

注2) Ｂ地点でもＡ地点と同様で、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。また、北東側隣接工場の作業音の影響を受けていた。

注3) Ｃ地点では、全ての測定条件で北東側隣接工場の作業音の影響を受けていた。また､稼動時は重機音及び場内作業音、ホッパーからの金属音が聞こえていた。

注4) Ｄ地点では、場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。

2) 振動レベル

測定地点：敷地周囲　※施設稼動時③；重機5台が稼働し、施設も稼働

単位：ﾃﾞｼﾞﾍﾞﾙ

測定地点	稼動状況	測定時間	振動レベル 80 %レンジ上端値	振動レベル 中央値	振動レベル 80 %レンジ下端値	適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関（測定年月日）
A（東）	施設停止時	8:03～ 8:13	49	45	42	○	60	60	㈱環境管理センター（2025. 4.09）
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	53	50	47	○			
B（北）	施設停止時	8:03～ 8:13	42	39	37	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	49	46	44	○			
C（西）	施設停止時	8:03～ 8:13	37	35	33	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	46	44	42	○			
D（南）	施設停止時	8:03～ 8:13	45	41	38	○			
	施設稼動時③	9:15～ 9:25	50	47	45	○			

注1) 全４地点において、施設停止時・稼動時ともに自主規制値・市川市環境保全条例基準値以下であった。

3)　大気環境測定（石綿：アスベスト）結果　　測定地点：敷地周囲

3)-1　大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

㈱環境管理センター試験完了年月日：(2025.　4.09)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量下限値及び単位
採取年月日	2025.　4.09	2025.　4.09	2025.　4.09	2025.　4.09		
採取時間	09:00～13:00	09:00～13:00	09:00～13:00	09:00～13:00		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	7.70	4.70	1.00	6.20	気中石綿測定分析 アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)(平成22年 環境省水･大気環境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡による計数法	0.056 本／L

3)-2　試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。

前処理　：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法
分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型Ｘ線分析装置(SEM-EDS)
JSM-6390LA(日本電子製)
観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)
加速電圧：15kＶ

試料名称 (敷地周囲) 採取年月日及び時間 試験項目	東側敷地境界 (A) 2025.　4.09 09:00～13:00	北側敷地境界 (B) 2025.　4.09 09:00～13:00	西側敷地境界 (C) 2025.　4.09 09:00～13:00	南側敷地境界 (D) 2025.　4.09 09:00～13:00	検出下限値及び単位
クリソタイル	<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アモサイト	<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
クロシドライト	<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
トレモライト /アクチノライト	<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アンソフィライト	<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計	0	0	0	0	―

※本調査では、全地点で総繊維数濃度が1.0本/ℓ以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。同地点で石綿（アスベスト）の検出はなかった。

3)-3　石綿（アスベスト）含有率測定結果

試料名称	機械室の堆積粉じん		
試験項目（単位）		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)
定性分析　エックス線回析法	クリソタイル	不検出	㈱環境管理センター 2025.　4.09
	アモサイト	不検出	
	クロシドライト	不検出	
	トレモライト ／アクチノライト	不検出	
	アンソフィライト	不検出	
定性分析　分散染色法	クリソタイル	不検出	
	アモサイト	不検出	
	クロシドライト	不検出	
	トレモライト ／アクチノライト	不検出	
	アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無	

注1)　エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。
注2)　分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が４繊維未満であることをいう。

東京臨海エコ・プラントの「環境測定」結果報告

ﾃﾞｰﾀ更新： 2025. 7.15

1) 騒音レベル　測定地点：敷地周囲

単位：ﾃﾞｼﾞﾍﾞﾙ(A)

測定地点	稼動状況	測定時間	騒音レベル 90 %レンジ上端値	騒音レベル 中央値	騒音レベル 90 %レンジ下端値	適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関（測定年月日）
A（東）	施設停止時	7:26～ 7:36	51	49	47	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	㈱環境管理センター（2025. 4.08）
	施設稼動時	10:25～ 10:35	60	56	52	○			
B（北）	施設停止時	8:00～ 8:10	57	54	51	○			
	施設稼動時	10:32～ 10:42	62	57	54	×			
C（西）	施設停止時	7:02～ 7:12	58	55	53	○			
	施設稼動時	10:03～ 10:13	65	63	61	×			
D（南）	施設停止時	7:00～ 7:10	59	57	55	○			
	施設稼動時	10:05～ 10:15	63	59	57	×			

注1) Ｂ地点、Ｃ地点、Ｄ地点において、施設停止時に自主基準値以下であったが、施設稼働時に基準値を超過。施設稼動時には重機稼働音が聞こえていた。

2) 振動レベル　測定地点：敷地周囲

単位：ﾃﾞｼﾞﾍﾞﾙ

測定地点	稼動状況	測定時間	振動レベル 80 %レンジ上端値	振動レベル 中央値	振動レベル 80 %レンジ下端値	適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関（測定年月日）
A（東）	施設停止時	7:26～ 7:36	35	33	<30	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	㈱環境管理センター（2025. 4.08）
	施設稼動時	10:25～ 10:35	37	35	34	○			
B（北）	施設停止時	8:00～ 8:10	33	31	<30	○			
	施設稼動時	10:32～ 10:42	44	42	40	○			
C（西）	施設停止時	7:02～ 7:12	33	30	<30	○			
	施設稼動時	10:03～ 10:13	42	40	39	○			
D（南）	施設停止時	7:00～ 7:10	31	<30	<30	○			
	施設稼動時	10:05～ 10:15	38	36	35	○			

注1) 全ての地点において、施設停止時・稼動時ともに自主規制値以下であった。

3)　大気環境測定（石綿：アスベスト）結果　　測定地点：敷地周囲

3)-1　大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

㈱環境管理センター試験完了報告日：(2025.　4.08)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試 験 方 法	定　量 下限値 及び 単　位
採取年月日	2025.　4.08	2025.　4.08	2025.　4.08	2025.　4.08		
採取時間	09:20～13:08	09:15～13:15	09:08～13:08	09:03～13:03		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	0.22	0.68	1.90	0.06	気中石綿測定分析 アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)(平成22年 環境省水・大気環境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡による計数法	0.056 本／L

記）調査の結果、敷地境界４地点のうち1地点では総繊維数濃度が1.0本/Ｌ以下であったことから、電子顕微鏡による
アスベスト繊維数濃度の調査を行いませんでした。
Ｃ地点（1.9本/Ｌ）では、総繊維数濃度が1.0本/Ｌを超えて検出されたため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の
調査を行いました。

3)-2　試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。
前処理　：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法
分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型Ｘ線分析装置(SEM-EDS)
観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)
加速電圧：15kＶ

試料名称 (敷地周囲) 採取年月日 及び時間 試験項目	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検　出 下限値 及　び 単　位
採取年月日	2025.　4.08				
及び時間	09:20～13:08				
クリソタイル	<0.11				0.11本/L
アモサイト	<0.11				0.11本/L
クロシドライト	<0.11				0.11本/L
トレモライト /アクチノライト	<0.11				0.11本/L
アンソフィライト	<0.11				0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計	0	－	－	－	－

※本調査では、Ａ地点で総繊維数濃度が1.0本/ℓ以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数
濃度の調査を行った。石綿（アスベスト）繊維は検出されなかった。

3)-3　石綿（アスベスト）含有率測定結果

試料名称	機械室の堆積粉じん		
試験項目（単位）		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)
定性分析　エックス線回析法	クリソタイル	不検出	㈱環境管理 センター 2025.　4.08
	アモサイト	不検出	
	クロシドライト	不検出	
	トレモライト ／アクチノライト	不検出	
	アンソフィライト	不検出	
定性分析　分散染色法	クリソタイル	不検出	
	アモサイト	不検出	
	クロシドライト	不検出	
	トレモライト ／アクチノライト	不検出	
	アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無	

注1)　エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。
注2)　分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が４繊維未満であることをいう。